

(様式1)

令和2年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

- 1 施設名 (所管課)
富山県西部体育センター スポーツ振興課
- 2 施設所在地
砺波市柳瀬241
- 3 施設設置年度
平成11年度
- 4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。
- 5 施設概要
延床面積：12,345.34㎡ 鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
大アリーナ(50m×40m・観覧席2,604席)、中アリーナ(34m×29m)
トレーニング室、体力測定室、研修室
- 6 指定管理者
公益財団法人富山県体育協会
- 7 指定期間
5年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
166,007	159,298	165,106	153,349	84,561

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H28	H29	H30	R1	R2
22,933	23,388	23,588	25,850	12,842

【参考】利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H28	H29	H30	R1	R2
17,954	17,954	21,733	21,935	22,136

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県の要請に基づく臨時休館（4/18～5/19）や大会等の中止のため、利用者数・料金収入ともに大きく減少した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成30年度から西部体育センター、総合体育センター及び高岡総合プールにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行っている。
・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行っている。
・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げや閉館時間の延長に柔軟に対応した。（繰上げ開館46件、閉館延長4件）
・ホームページやSNSを活用し、大会やイベント開催時における飲食物販売や駐車場利用状況等の情報を積極的に発信し、サービス向上に努めた。
・施設利用者等へのアンケート調査やモニタリングの実施により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
・引き続き、スポーツサウナ利用時間の延長運用を行った（平日30分延長、土曜日4時間繰上げ）。
・研修室の利用時間区分について、引き続き、1時間単位で利用できるようにした。
・施設利用者の便宜を図るため、引き続き飲料等の自動販売機を設置した。
・隣接する砺波市温水プール及び地域スポーツクラブと連携し、事業や通常業務の一体的な運営に努め、サービスの向上に努めた。
・職員のスキルアップを図るため、職員に対する研修を実施し、サービスの向上に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・平成30年度から、第1トレーニング室の個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定している。
・比較的利用の少ない平日午前中の大・中アリーナの利用を促進するため、平成30年度から個人利用者向けの朝割料金を設定している。
・ポイントカードを発行し、一定のポイントに達した利用者が施設を無料で利用できるサービスを行い利用促進を図っている。
・レディースデイを設定し、女性の利用者の増を図っている。
・情報誌「ジムワールド」を毎月発行し、地元市、近隣市に広く配布するとともに、ホームページの充実を図り各種情報を提供している。
・自主事業として、健康体力づくりとして「マンデースポーツタイム」などの教室を開催し、施設のPRと利用者の増に努めた。
・県総合体育センターと連携し、TOYAMAアスリートマルチサポート事業の拠点施設として、サポート競技及びサポート選手に対して、体力測定（延べ27名）やトレーニング指導（249名）を行った。
・地域スポーツクラブ及び隣接する砺波市温水プールと連携し、体育の日にスポーツフェスティバル（施設の無料開放、スポーツ体験、ヨガ、アクアビクス、スローエアロ等）を開催した（延べ1,210名参加）。
・季節に応じ、施設内に七夕やクリスマスツリーを、正面入口にはイルミネーションを点灯し、集客に努めた。
・隣接する砺波市温水プールと連携して、各施設の利用者の相互利用の促進に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：①スポーツ障害相談参加者、②プレゼントクエスト応募者
回答者数	回答者数：①42人、②388人
結果	・意見・要望等 施設管理が行き届いており綺麗で清潔感があり利用しやすい、利用料金が安価で助かる、新型コロナ対策（検温・消毒・換気）が徹底されている 等
結果を踏まえた改善事項	・接客では、引き続き、笑顔で対応するよう心がける。 ・施設や設備、トレーニング器具等の老朽化については、引き続き、県と指定管理者で協議し、緊急性の高いものや優先順位の高いものから順次更新・改修を行う。 ・引き続き、新型コロナ感染拡大防止対策に努める。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・モニタリングの実施 ⇒年1回、利用者から17名を抽出し、設備、環境や職員の接遇についてモニタリングを実施（回答者 16名：全体の平均評価 5点満点中4.6点）
・運営協議会の開催 ⇒年1回、学識経験者や利用者の代表等12名の委員で構成する協議会を開催し、運営方針等の協議、利用者の意見、要望について情報交換を実施

③主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

・西部体育センターを拠点とする地域スポーツクラブと連携し、同クラブでは、毎週木曜日（13～15時）を「SEIBUスポーツデー」として利用促進を図っている。 ・地元の医療機関などと連携し、中高齢者を対象に、生活習慣を改善する講習会等を無料で開催し、医師による運動プログラムを提供した。 ・地元の障害児入所施設等からの要請を受け、運動指導を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・全職員を対象とした避難訓練・防災訓練（消火栓の使用方法、消火訓練）の実施 ・危機管理マニュアル（安全利用・緊急対応マニュアル）に沿った対応を現場で確認し、職員に徹底した。 ・隣接する砺波市温水プールとの連携を深め、一体的な緊急連絡体制を確立している。 ・自衛消防訓練の実施（砺波市温水プールと合同実施） ・新型コロナウイルス感染症対策として検温、換気、機器・用具の消毒等を徹底しているほか、厚生センターから講師を招き、体育施設における感染症予防についての研修会を実施し、具体的な感染予防対策についての職員の知識を深めた。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・平成30年度から新たな料金体系の設定や、トレーニング室の利用時間の拡充、回数券の有効期限の延長等、新たな取り組みを始めており、引き続き一層のサービス向上、利用促進に努めてもらいたい。
- ・利用者の意見、要望を踏まえ、より使いやすい施設となるよう利用促進及びサービス向上に向けた取組みを継続するとともに、引き続き、利用の少ない時間帯などについて利用の促進を図るような工夫を行っていくことが望まれる。
- ・隣接する砺波市温水プールについては、施設を管理する地域スポーツクラブと連絡を密にし、利用者の相互利用の利便性の確保に一層努めるとともに、双方の施設の利用増につなげていくことが必要である。
- ・県西部における競技力向上の拠点として位置づけられていることから、県総合体育センターや各競技団体と連携し、総合的な競技力向上に一層努めていく必要がある。
- ・体力測定や健康相談の活用による新たな利用者の獲得を進めてもらいたい。
- ・SNSの活用については、Facebookによるタイムリーで分かりやすい情報発信により、利用者ニーズに対応している。
- ・一般利用者と障害者の方が一緒にスポーツできる取組みの実施について検討してほしい。
- ・一般利用者の増加のため、例えば企業の福利厚生事業での利用を促進するなどの方策について検討してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、教室事業の拡充等により、利用者の回復に努めてもらいたい。